

# ふれあい

fureai

深谷市子どもサポート市民会議広報誌

令和5年3月号 No.19  
(令和5年3月1日発行)

深谷市子どもサポート市民会議

事務局 深谷市こども未来部こども青少年課  
〒366-8501 深谷市仲町11-1  
TEL.048-574-6646 FAX.048-551-4480

令和4年5月より、会長を務めております、山本でございます。令和4年度は、昨年度まで新型コロナウイルスの影響によって実施できなかったことが再開できるようになり、再始動の年となりました。深谷七夕まつりでの合同街頭巡視や、青少年育成推進部会との合同研修会など、より効果的な活動ができたと感じております。また、昨年12月に開催した「こども学びスタin深谷」では、多くの方に子どもたちの成長の様子を見届けていただきました。本会議では、今後も子どもたちが健全に成長できるよう、地域で見守り育てていく活動を推進してまいります。来年度には、こども家庭庁が発足されるなど、子どもに対する社会の関心が高まっている一方で、近年では子どもたちが事件や事故に巻き込まれ、心や体に傷を負ったり、命を奪われてしまう事件も数多く発生しています。このような状況から子どもたちを守るため、地域の皆様のご協力が不可欠であると感じております。

地域の皆様におかれましては、ぜひ、これからも子どもたちを温かく見守っていただき、よろしくお願いいたします。



深谷市子どもサポート市民会議  
会長 山本 和憲

令和4年度は、昨年度まで新型コロナウイルスの影響によって実施できなかったことが再開できるようになり、再始動の年となりました。

## 安全・安心パトロール

深谷市子どもサポート市民会議では、小中学校の夏休み期間に、地域の見守り活動として、各地区の青少年健全育成会を中心に、民生・児童委員をはじめ、多くの団体に協力いただき、安全・安心パトロールを実施しました。また、これ以外にも、地域の実情に合わせて、青少年育成推進部会員の協力を得ながら、下校時や地域のお祭りでの見守り活動も行っています。

## 深谷七夕まつり合同街頭巡視

7月8日(金)と9日(土)、深谷七夕まつりの会場で、合同街頭巡視を行いました。深谷七夕まつりが、3年振りの開催となりましたので、深谷市子どもサポート市民会議にとっても、3年振りの合同街頭巡視になりました。8日には、深谷市子どもサポート市民会議が中心となり、9日には、小中学校の先生方やPTAの方にご協力いただき、巡視を行いました。19時以降に、七夕まつり会場内を、声かけを中心とした巡視活動を行い、帰宅を促しました。

夏季は、日の入りも遅く、遅くまで外出しがちな青少年も増える時期です。青少年にとっても、夏休みもあり、3年振りのお祭りに気持ちの緩む季節です。そのような季節だからこそ、思わぬ犯罪に巻き込まれてしまわないように、地域で青少年を見守っています。

## 青少年健全育成会の活動を紹介します

深谷市子どもサポート市民会議では、地域が一体となった青少年の健全育成を目指し活動しています。また、地域の活動を充実させるため、深谷市内12の青少年健全育成会を構成団体として位置づけ、共に活動しています。

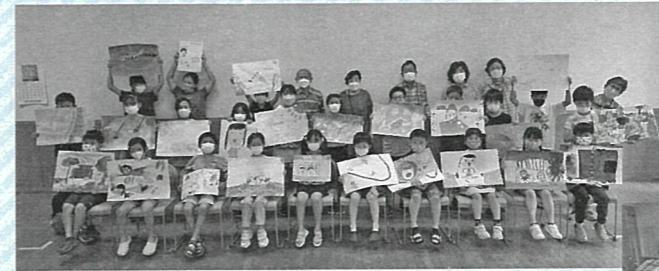
今号では、その中から、深谷地区・藤沢地区・幡羅地区の活動を紹介いたします。

### 深谷地区青少年健全育成会



深谷地区では、8月18日(木)夏休み中の犯罪や非行から子どもたちを守るため、深谷消防団第1・第2分団のみなさんと、深谷地区管内を、子ども安全・安心パトロールを行いました。

### 藤沢地区青少年健全育成会



藤沢地区では、8月4日(木)、藤沢公民館の大会議室において、藤沢小学校1〜6年生26人を対象に、子ども絵画教室を開催しました。参加した児童は、藤沢スケッチクラブの皆さんに指導してもらい、ポスターなどそれぞれ描きたい絵を仕上げました。

### 幡羅地区青少年健全育成会



幡羅地区では、幡羅地区社会福祉協議会・幡羅公民館との共催により、小学生を対象に自由研究に役立てていただけるように、毎年度「夏休み子どもお楽しみ会」を開催しています。今年度は7月29日(金)に「サイトくん」で交通安全体験をしよう！を実施しました。交通安全体験車「サイトくん」により、自転車シミュレーター、シートベルト効果体験、VR体験など楽しく学べました。今度も、皆さんが楽しく学べる会を開催していきます。

### ◎南 初枝 副会長 青少年育成功労賞を受賞◎

南副会長が、深谷市子どもサポート市民会議副会長として、長年に渡り青少年の健全育成活動に尽力された功績が認められ、青少年埼玉県会議から青少年育成功労賞を受賞しました。

深谷市子どもサポート市民会議は、地域の子どもの見守っています  
緊急時には、子どもの安全・安心の確保にご協力を！

## 深谷七夕まつり合同街頭巡視の様子





# 令和4年度 「こども学びスタ in 深谷」

12月18日(日)に、深谷市民文化会館大ホールにて、「こども学びスタ in 深谷」を開催しました。「中学生の主張」の発表と表彰、「3つの運動」標語コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰の他、教育委員会による「手紙でつむぐ『ありがとう』の思い」の表彰が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

## 中学生の主張

司会は、昨年度の「中学生の主張」で最優秀賞を受賞した阿波連明里さん(高一)が務めました。「中学生の主張」では、応募数598点から選ばれた生徒が大きなステージで自らの主張を発表しました。どの発表も大変素晴らしい主張でした。審査の結果、幡羅中学校3年逸見優音さんが最優秀賞を受賞しました。発表者の作品は、深谷市のホームページでご覧いただけます。



最優秀賞受賞者  
逸見 優音さんの発表の様子

## 「中学生の主張」

### 最優秀賞作品紹介

「本当の自分と出会うために」



幡羅中学校 3年  
逸見 優音

「あなたの個性は何ですか?」と聞かれたら、なんと答えますか? 私なら自分の長所を答えると思います。ですが、そんな自分の良いところだけが、個性なのでしょうか。最近、「個性を大切に」という言葉をよく耳にします。私はこの言葉を聞くたびに、「個性」って何だろう? 「個性を大切に」とは、何をどうすることなのだろう? と疑問に思うのです。

「個性的なファッション」という言葉を使うとき、多くの人が他人とは違う、その人だけの特徴的な服装をイメージすると思います。しかし、周囲を見渡せば、「人と同じじゃ嫌なので……。」と言いながら、同じようなファッションに身を包んでいる人を大勢見かけます。その時その時の流行に飛びつき、それが毎年繰り返しされる。「個性」とはそんなに表面的で画一的なものなのでしょうか。

私は、改めて辞書を引いてみました。「他の人と違った、その人特有の性質」

とありました。自分の個性は、他の人と比べないと、わからないものなのでしょうか。辞書で調べれば、スッキリ解決すると思っていた私の疑問は、そこでまた、大きく変わってしまいました。私は小学生の頃、手を挙げて発表することがとても苦手でした。自分の意見をどう思われるか人目を気にして、臆病になっていました。私は自分が嫌でした。中学生になった私は、そんな自分を変えたくて、授業中、手を挙げて発表したり、学級委員として人前に立ったり、生徒会に立候補したりしました。そうして、今の私になりました。これまでお話ししてきたように、「個性」というものについて色々考えてきました。その結果、私は、自分なりの答えを見つけ出しました。それは、一言でいえば、「個性」とは、人と比べるものではなく、自分の良いところだけではない、自分を創りあげていく、あらゆる部分だということです。自分が嫌だと思っていた、小学生の私の内気な性格も、やはり、自分自身だったのです。そして変わりたいと思った自分も、積極的になれた自分も、紛れもない私自身なのです。

「個性的なファッション」とは、人と比べて流行に流されたりすることではなく、本当に自分が好きな、自分に合ったものを身につけることを指すのだと思います。自分が自信をもって、気に入って身につけるものが、その人の「個性的なファッション」となるのではないのでしょうか。「個性」に良いも悪いもありません。好きも嫌いも無いのです。いいえ、良いも悪いも、好

## 「家庭の日」ポスターコンクール

親子や家族のふれあい、絆をテーマにしたポスターを、小学1~3年生から募集し、市内19小学校から436点の応募がありました。そのうち、最優秀賞、優秀賞受賞者を表彰しました。

### 最優秀賞作品



たくさんとれたよ ジャがいもほり



川本南小学校 3年 鈴木 結月

### 優秀賞作品



家族みんなで花火 幡羅小学校 3年 藤塚 優月  
かぞくでピクニック 上柴西小学校 1年 鶴田 莉子

## 「3つの運動」標語コンクール

深谷市子どもサポート市民会議では、「脱いだ靴をそろえよう」「すすんであいさつをしよう」「ことばを大切にしよう」の「3つの運動」を掲げています。青少年が他者への思いやり、けじめやコミュニケーションの重要性を意識しつつ、心豊かに生活していけるよう、この運動を推進しています。

本年度は、この中の「脱いだ靴をそろえよう」をテーマとし、小学4~6年生から作品を募集し、市内17小学校から2,646点の応募がありました。そのうち、最優秀賞、優秀賞受賞者を表彰しました。

### 最優秀賞作品

ぬいだくつ おつかれさまと ととのえる



深谷小学校 5年 高橋 勇輝

### 優秀賞作品

脱いだ靴 しまえて銀賞 そろえて金賞  
上柴東小学校 6年 樋口 瑞季  
そろえれば くつも心も ピッカピカ  
岡部小学校 6年 糸井 胡桃

「中学生の主張」作文、標語、ポスターの入賞作品は、深谷市のホームページからご覧いただけます。こちらの二次元コードをご利用ください。

## 「中学生の主張」受賞者一覧

賞	学校名	学年	名前	題名
最優秀賞	幡羅中学校	3	逸見 優音	本当の自分と出会うために
優秀賞	川本中学校	3	堀野日向子	未来を守る私たちの決断
優秀賞	南中学校	3	圓岡 七菜	たった一つの私の苗字
優良賞	岡部中学校	3	比田井心暖	夢を持つことの大切さ
優良賞	花園中学校	3	高木さくら	中学校で学んだこと
優良賞	東京成徳大学深谷中学校	2	高岡うるい	本当の豊かさとは
優良賞	深谷中学校	3	中澤 桜子	タバコの害
優良賞	藤沢中学校	2	小林 まい	自分の夢と向き合って
優良賞	上柴中学校	3	小柳 結菜	社会を守る一員として 一公平であること
優良賞	明戸中学校	3	片野誠一郎	スマホ依存の社会問題
優良賞	豊里中学校	2	西田 瑠空	伝統が生み出すパワー

きも嫌いも、全て自分の個性なのです。つまり、個性とは、自分自身そのものなのです。その上で、「個性を大切に」とは、何をどうすることなのか、改めて考えてみました。結論からいうと、自分の全てを受け入れる、ということなのです。人を羨んだり、自分を嘆いたりするのはなく、自分を認め、自分を励まし、更に、今自分が気づかない、輝く自分の個性を見つけていけることが、本当の意味の、「個性を大切に」ということなのだということです。そんな自分の個性を大切にできたとしたら、その先にあるものは自分の可能性です。新しい自分を発見するには、今の自分、今までの自分を理解すること

が必要で、小学生の内気な自分、積極性が現れてきた自分、そのどちらも大切な自分として受け入れ、さらに、新たな自分を発見していきたいと思えます。今、私は中学3年生です。初めて人生の大きな分かれ道に立っています。この先、人生には様々なできごとが待っています。まだ自分でも気づかない自分の個性が、自分の中に眠っているはず。私は、そんな新たな自分との出会いを楽しみに、希望を胸に前向きに生活していこうと思います。みなさんも、ちょっと立ち止まって、鏡の中の自分をのぞき、自分自身を見つめ直してみたいかがですか。